資料1

麻しん・風しん指針改正の方向性（案）

①定期予防接種実施率向上に向けた対策の強化
②児童福祉施設、医療機関等における対策の強化
③輸入症例への対策の強化
④風しん抗体検査から予防接種への結び付け

①定期予防接種実施率向上に向けた対策の強化

現状

○　麻しん及び風しんの定期の予防接種は、第１期として１歳児に、第２期として就学前１年間に実施されている。

○　麻しん及び風しんに関する特定感染症予防指針において、定期予防接種の第１期・第２期について、「それぞれの接種率が95％以上となることを目標とする」としている。

○　2016年度の国全体の接種率は、麻しんと風しんの予防接種ともに、第１期が97.2％、第２期が93.1％であった。

○　第１期接種の国全体の接種率は97.2％と高いが、各市町村の接種率をみると95％を達していない市町村が40％存在している。第２期については、95％に達していない市町村が55％存在している。（都道府県でみると、第１期で４県、第２期で37都道府県が未達成である。）

課題

○　国全体の第2期の接種率も目標の95％を達成するために対策の強化が必要である。

○　国全体の接種率だけではなく、全ての市町村ごとの接種率においても、第1期と第2期の両方とも95％以上を達成するための対策の強化が必要である。

改正の方針

○　国全体の第２期の接種率向上のための取り組みが必要である。

○　各市町村の接種率を評価し、各市町村における定期の予防接種の第1期・第2期のそれぞれの接種率が95％以上となるように取り組みが必要である。

↓

○　麻しん風しん両指針において、以下の趣旨の記載を追加してはどうか。

・<u>国と都道府県は、各市町村に対して、第1期・第2期それぞれの接種率が95％以上となるように働きかける。</u>

・<u>都道府県に設置されている麻しん風しん対策会議は、各市町村の接種率を評価し、第1期・第2期それぞれの接種率が95％以上となるように提言を行う。</u>

②児童福祉施設、医療機関等における対策の強化

現状

○　麻しん及び風しんは、現在定期の予防接種の対象であり、第１期は、生後12月～24月に至るまでの間にある者、第２期については、小学校就学の始期に達する日の１年前の日から当該始期に達する日の前日までの間にある5歳以上7歳未満の者である。

○　0歳児については、免疫が付きにくいなどの理由から、定期接種の対象となっていない。

○　麻しん・風しん指針とも、幼児、児童、体力の弱い者等の風しんに罹患すると重症化しやすい者や妊婦と接する機会が多い医療関係者、児童福祉施設、学校等の職員に対し予防接種を推奨するとしている。

課題

○　定期接種による発生の予防ができない0歳児は肺炎や脳炎などの重症化の危険性が特に高いため、周囲の者への予防接種を徹底する必要がある。

○　麻しん・風しんとも、免疫不全者、妊婦などの予防接種の不可能な者や0歳児に接する機会の多い者に対する予防接種の重要性が強調されていない。

○　今般の沖縄に端を発する今般の事案では、医療施設内での感染例もみられた。

改正の方針

○　麻しん・風しんとも、免疫不全者や妊婦などの予防接種の不可能な者や0歳児に接する機会の多い児童福祉施設や医療機関等で働く者に対する予防接種の推奨を強化する。

↓

○　麻しん、風しん指針両方において、0歳児や予防接種の不可能な者に接する機会の多い者に対し、特に強く予防接種を推奨する趣旨の記載を追加してはどうか。

※今般の事案を踏まえ、取り急ぎ現行指針の内容について、関係機関に改めて周知してはどうか。

③輸入症例への対策の強化

現状

○　麻しん指針については、予防接種法に基づかない予防接種の推奨の対象者に、「海外に渡航する者」が入っていないだけでなく、輸入症例への対策について触れられていない。

○　風しんの指針には、「予防接種法に基づかない予防接種」の推奨の対象者に、「海外に渡航する者」が入っているが、輸入症例対策について触れられていない。

課題

○　麻しんについては、平成27年に国内で排除が認定されているが、排除状態を維持するためには、輸入症例についての対策を強化する必要がある。

○　また、風しんについては、2020年度までに排除達成するために、渡航者に対する対策とともに、輸入症例対策をより一層強化する必要がある。

改正の方針

○　麻しんの排除状態を維持し、風しんの排除を達成するためには、国外に渡航する者はもちろんのこと、海外からの輸入症例に対して、より積極的な取組が求められる。

↓

○　麻しん、風しん指針両方において、海外からの渡航者と接する機会の多い職業（空港の従業員等）に対する予防接種を推奨するとともに、海外に渡航する者等のうち、罹患歴又は予防接種歴が明らかでない者に対し、予防接種を推奨する趣旨の記載を追加してはどうか。

④風しん抗体検査から予防接種への結び付け

現状

○　現行の風しん指針においては、発生の予防に最も有効な対策は、予防接種により風しんへの免疫を獲得することとされており、必要と認められる場合には積極的に抗体検査を実施することが推奨されている。しかし、抗体検査の結果、ワクチン接種が必要と判定された者を予防接種に確実に結びつけることまでは強調されていない。

○　風しんの抗体検査事業において、自治体が行う風しん抗体検査費用について助成を行っている。

課題

○　約9割の自治体で風しんの抗体検査が行われているものの、自治体アンケートによると、助成事業で行った抗体検査の結果を把握している自治体は約75%であり、その中では風しんの抗体検査でワクチン接種が必要と判定された者のうち、予防接種を受けているのは約3分の1にとどまっている。

○　幼少期に風しんに自然感染しておらず、かつ、風しんの定期の予防接種を受ける機会がなかった、昭和37年度から昭和53年度に出生した男性の抗体保有率は約8割にとどまる。

改正の方針

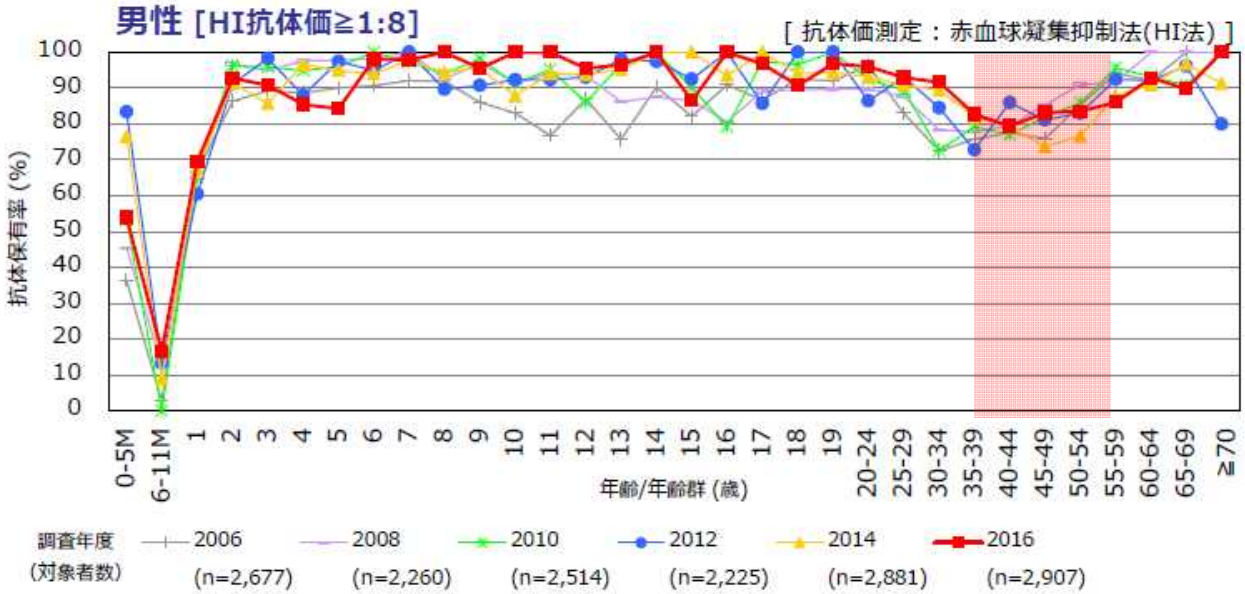
○　一回しかワクチンを接種していない世代であっても、約8割の抗体保有率がある以上、必要があると認められる者に対し、積極的に検査を実施することが、予防接種の効率的かつ効果的な実施につながる。

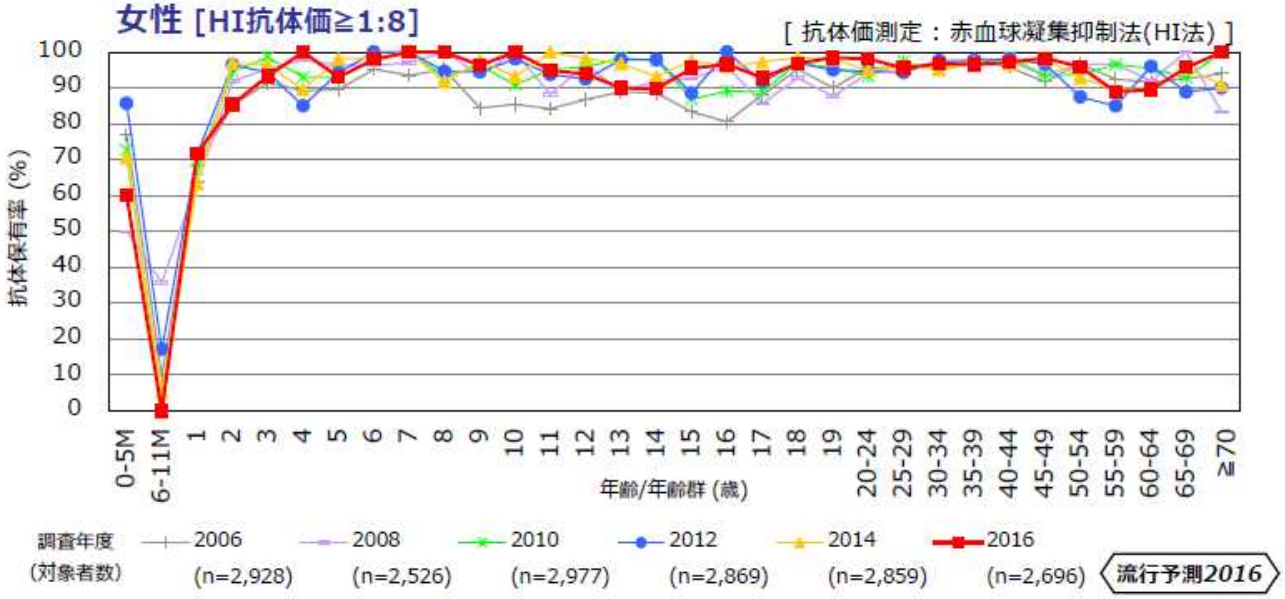
○　検査を行った場合、ワクチン接種が必要と判定された者を確実に予防接種につなげることが重要である。

↓

○　風しん指針において、抗体検査の結果、陰性又は判定保留の結果が出た場合に、確実に予防接種に結び付けることが重要である趣旨の記載を追加してはどうか。

日本における風しんの抗体保有状況





2016年度感染症流行予測調査

資料１別添１

第1期　麻しん風しんワクチン接種状況

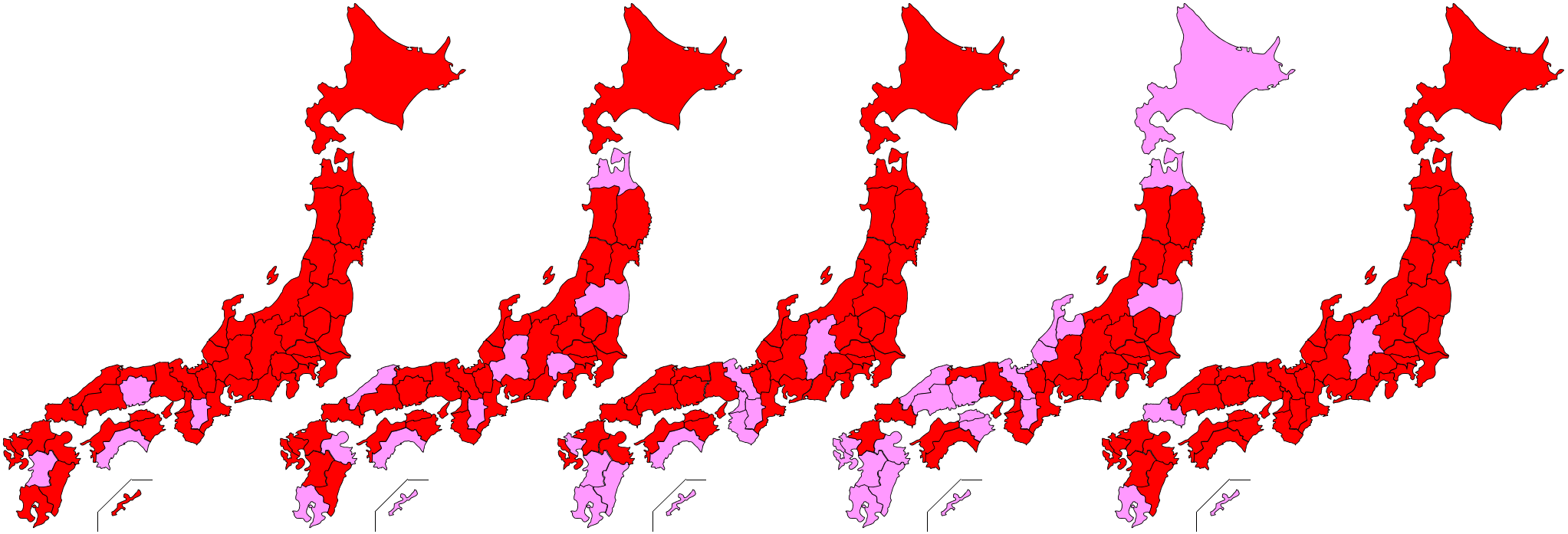
平成28年度（2016年度）
麻しんワクチン接種率 97.2%
風しんワクチン接種率 97.2%

平成27年度（2015年度）
麻しんワクチン接種率 96.2%
風しんワクチン接種率 96.2%

平成26年度（2014年度）
麻しんワクチン接種率 96.4%
風しんワクチン接種率 96.4%

平成25年度（2013年度）
麻しんワクチン接種率 95.5%
風しんワクチン接種率 95.5%

平成24年度（2012年度）
麻しんワクチン接種率 97.5%
風しんワクチン接種率 97.5%



- 95%以上
- 90%以上95%未満
- 85%以上90%未満
- 80%以上85%未満
- 75%以上80%未満
- 75%未満

※麻しんワクチン接種率（%）
＝(麻しん風しん混合ワクチン接種者数+麻しん単抗原ワクチン接種者数)/接種対象者数×100

※風しんワクチン接種率（%）
＝(麻しん風しん混合ワクチン接種者数+風しん単抗原ワクチン接種者数)/接種対象者数×100

※地図は麻しんワクチン接種率に基づく色分け

厚生労働省健康局健康課，国立感染症研究所感染症疫学センター

第2期　麻しん風しんワクチン接種状況

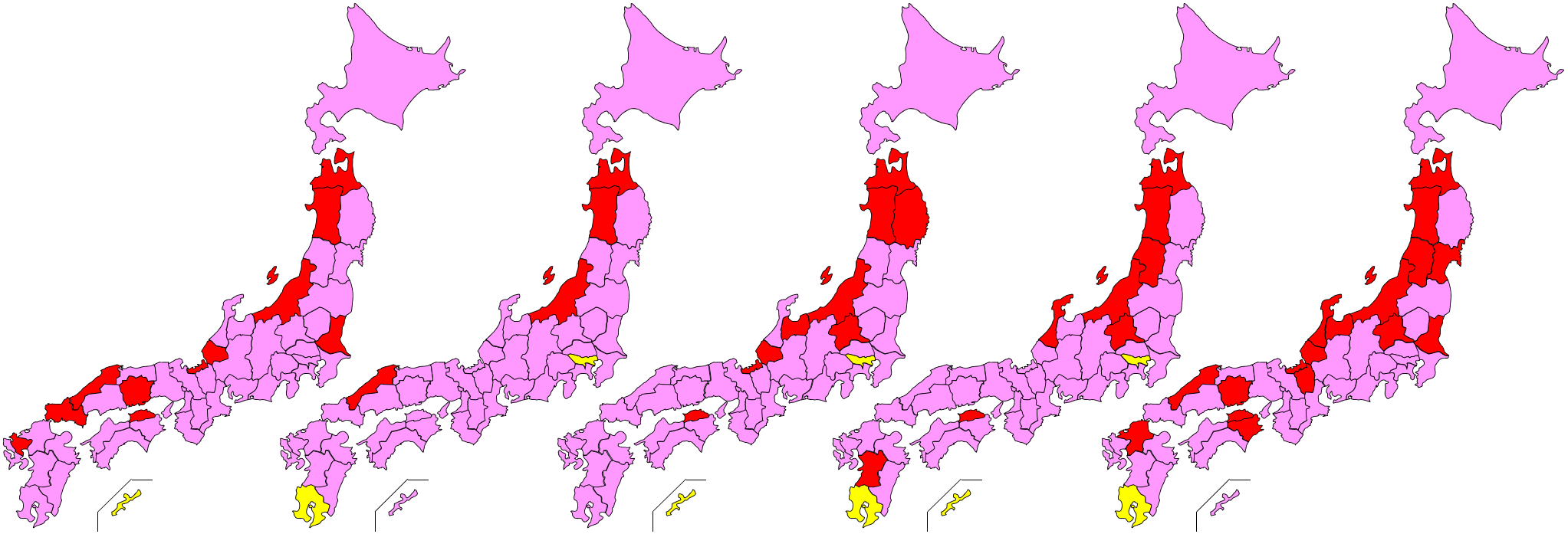
平成28年度
（2016年度）
麻しんワクチン接種率
93.1%
風しんワクチン接種率
93.1%

平成27年度
（2015年度）
麻しんワクチン接種率
92.9%
風しんワクチン接種率
92.9%

平成26年度
（2014年度）
麻しんワクチン接種率
93.3%
風しんワクチン接種率
93.3%

平成25年度
（2013年度）
麻しんワクチン接種率
93.0%
風しんワクチン接種率
93.0%

平成24年度
（2012年度）
麻しんワクチン接種率
93.7%
風しんワクチン接種率
93.7%



95％以上
90％以上95％未満
85％以上90％未満
80％以上85％未満
75％以上80％未満
75％未満

※麻しんワクチン接種率（％）
＝(麻しん風しん混合ワクチン接種者数+麻しん単抗原ワクチン接種者数)/接種対象者数×100

※風しんワクチン接種率（％）
＝(麻しん風しん混合ワクチン接種者数+風しん単抗原ワクチン接種者数)/接種対象者数×100

※地図は麻しんワクチン接種率に基づく色分け

厚生労働省健康局健康課，国立感染症研究所感染症疫学センター

総合表　都道府県別麻しんワクチン接種率　2016 年度最終評価

接種対照群別結果一覧及びワクチン接種率が 95%未満の自治体の数と割合

Ｎｏ．	都道府県	接種率		自治体数	接種率が 95%未満の自治体の数と割合	
		第１期	第２期		第１期	第２期
合計		97.2	93.1	1737	701 (40.3%)	954 (54.9%)
1	北海道	96.5	92.7	179	87 (49%)	66 (37%)
2	青森県	98.9	96.4	40	14 (35%)	10 (25%)
3	岩手県	95.8	94.7	33	12 (36%)	9 (27%)
4	宮城県	96.9	93.1	35	12 (34%)	21 (60%)
5	秋田県	101.7	96.6	25	7 (28%)	10 (40%)
6	山形県	99.2	94.5	35	9 (26%)	14 (40%)
7	福島県	97.7	92.9	59	26 (44%)	39 (66%)
8	茨城県	95.9	95.1	44	18 (41%)	19 (43%)
9	栃木県	95.1	93.7	25	13 (52%)	13 (52%)
10	群馬県	98.6	94.9	35	13 (37%)	11 (31%)
11	埼玉県	96.9	92.0	63	20 (32%)	53 (84%)
12	千葉県	96.5	93.6	54	22 (41%)	34 (63%)
13	東京都	98.0	90.8	62	14 (23%)	54 (87%)
14	神奈川県	96.7	93.0	33	8 (24%)	29 (88%)
15	新潟県	97.5	95.4	30	11 (37%)	14 (47%)
16	富山県	98.4	94.4	15	2 (13%)	7 (47%)
17	石川県	95.8	94.1	19	10 (53%)	12 (63%)
18	福井県	99.5	95.2	17	8 (47%)	5 (29%)
19	山梨県	97.3	93.8	27	9 (33%)	14 (52%)
20	長野県	97.5	94.4	77	36 (47%)	39 (51%)
21	岐阜県	96.1	92.4	42	14 (33%)	27 (64%)
22	静岡県	98.6	94.2	35	11 (31%)	20 (57%)
23	愛知県	97.9	93.8	54	13 (24%)	30 (56%)
24	三重県	99.0	94.3	29	11 (38%)	13 (45%)
25	滋賀県	96.6	94.6	19	8 (42%)	7 (37%)
26	京都府	97.8	92.4	26	9 (35%)	20 (77%)
27	大阪府	97.0	92.8	43	12 (28%)	30 (70%)
28	兵庫県	97.4	94.0	41	12 (29%)	23 (56%)
29	奈良県	94.4	93.5	39	22 (56%)	20 (51%)
30	和歌山県	95.3	93.4	30	15 (50%)	12 (40%)
31	鳥取県	98.2	94.0	19	10 (53%)	11 (58%)
32	島根県	96.6	95.9	19	11 (58%)	6 (32%)
33	岡山県	94.5	95.2	27	15 (56%)	12 (44%)
34	広島県	97.8	93.6	23	9 (39%)	18 (78%)
35	山口県	96.6	97.0	19	8 (42%)	8 (42%)
36	徳島県	101.3	93.7	24	11 (46%)	13 (54%)
37	香川県	99.9	96.5	17	4 (24%)	7 (41%)
38	愛媛県	97.5	92.7	20	8 (40%)	11 (55%)
39	高知県	94.1	91.3	30	19 (63%)	24 (80%)
40	福岡県	96.6	91.2	60	31 (52%)	39 (65%)
41	佐賀県	97.5	95.0	20	6 (30%)	8 (40%)
42	長崎県	97.9	92.7	21	6 (29%)	13 (62%)
43	熊本県	94.3	91.7	45	27 (60%)	28 (62%)
44	大分県	98.4	94.1	18	4 (22%)	8 (44%)
45	宮崎県	99.2	92.8	26	15 (58%)	11 (42%)
46	鹿児島県	96.7	90.6	43	23 (53%)	33 (77%)
47	沖縄県	95.2	89.8	41	16 (39%)	29 (71%)

総合表　都道府県別風しんワクチン接種率　2016 年度最終評価

接種対照群別結果一覧及びワクチン接種率が 95%未満の自治体の数と割合

Ｎｏ．	都道府県	接種率		自治体数	接種率が 95%未満の自治体の数と割合	
		第１期	第２期		第１期	第２期
合計		97.2	93.1	1737	701 (40.3%)	954 (54.9%)
1	北海道	96.5	92.7	179	87 (49%)	66 (37%)
2	青森県	98.9	96.4	40	14 (35%)	10 (25%)
3	岩手県	95.8	94.7	33	12 (36%)	9 (27%)
4	宮城県	96.9	93.1	35	12 (34%)	21 (60%)
5	秋田県	101.7	96.6	25	7 (28%)	10 (40%)
6	山形県	99.2	94.5	35	9 (26%)	14 (40%)
7	福島県	97.7	92.9	59	26 (44%)	39 (66%)
8	茨城県	95.9	95.1	44	18 (41%)	19 (43%)
9	栃木県	95.1	93.7	25	13 (52%)	13 (52%)
10	群馬県	98.6	94.9	35	13 (37%)	11 (31%)
11	埼玉県	96.9	92.0	63	20 (32%)	53 (84%)
12	千葉県	96.5	93.6	54	22 (41%)	34 (63%)
13	東京都	98.0	90.8	62	14 (23%)	54 (87%)
14	神奈川県	96.7	93.0	33	8 (24%)	29 (88%)
15	新潟県	97.5	95.4	30	11 (37%)	14 (47%)
16	富山県	98.4	94.4	15	2 (13%)	7 (47%)
17	石川県	95.8	94.1	19	10 (53%)	12 (63%)
18	福井県	99.5	95.2	17	8 (47%)	5 (29%)
19	山梨県	97.3	93.8	27	9 (33%)	14 (52%)
20	長野県	97.5	94.4	77	36 (47%)	39 (51%)
21	岐阜県	96.1	92.4	42	14 (33%)	27 (64%)
22	静岡県	98.6	94.2	35	11 (31%)	20 (57%)
23	愛知県	97.9	93.8	54	13 (24%)	30 (56%)
24	三重県	99.0	94.3	29	11 (38%)	13 (45%)
25	滋賀県	96.6	94.6	19	8 (42%)	7 (37%)
26	京都府	97.8	92.4	26	9 (35%)	20 (77%)
27	大阪府	97.0	92.8	43	12 (28%)	30 (70%)
28	兵庫県	97.4	94.0	41	12 (29%)	23 (56%)
29	奈良県	94.4	93.5	39	22 (56%)	20 (51%)
30	和歌山県	95.3	93.4	30	15 (50%)	12 (40%)
31	鳥取県	98.2	94.0	19	10 (53%)	11 (58%)
32	島根県	96.6	95.9	19	11 (58%)	6 (32%)
33	岡山県	94.5	95.2	27	15 (56%)	12 (44%)
34	広島県	97.8	93.6	23	9 (39%)	18 (78%)
35	山口県	96.6	97.0	19	8 (42%)	8 (42%)
36	徳島県	101.3	93.7	24	11 (46%)	13 (54%)
37	香川県	99.9	96.5	17	4 (24%)	7 (41%)
38	愛媛県	97.5	92.7	20	8 (40%)	11 (55%)
39	高知県	94.1	91.3	30	19 (63%)	24 (80%)
40	福岡県	96.6	91.2	60	31 (52%)	39 (65%)
41	佐賀県	97.5	95.0	20	6 (30%)	8 (40%)
42	長崎県	97.9	92.7	21	6 (29%)	13 (62%)
43	熊本県	94.3	91.7	45	27 (60%)	28 (62%)
44	大分県	98.4	94.1	18	4 (22%)	8 (44%)
45	宮崎県	99.2	92.8	26	15 (58%)	11 (42%)
46	鹿児島県	96.7	90.6	43	23 (53%)	33 (77%)
47	沖縄県	95.2	89.8	41	16 (39%)	29 (71%)